

団体名 岡山市立オリエント美術館友の会	代表者 大塚利昭	記載者 高見 妙
所在地(市区町村名のみ) 岡山市北区天神町		
活動目的 「美術館に訪れた人が、オリエントの歴史や文化、さらにはオリエント美術館そのものに親しみを感じてもらうこと」、また「主体的に取り組む活動を通じて、能動的な能力を育む機会となること」を期待して活動に取り組む。		
団体の紹介 岡山市立オリエント美術館友の会は、歴史や芸術を愛する人が集まり、美術館との協同の下に、その活動を支え、各人の教養を高めて会員相互の親睦を深めることを目的に様々な活動を行っています。友の会にはボランティア組織が設置されており、美術館事業の支援、あるいは協同事業の企画など精力的な活動に取り組んでいます。		
助成を受けての活動内容 オリエントの歴史・文化に関連する簡易な創作体験ができ、実施時間中であればだれでも無料で参加できる「オリエン太のアトリエ」を友の会・美術館共催として企画・実施しました。平成28年度から実施しているこの事業は、これまでその場で短時間の創作体験ができる低コストの内容を提案してきましたが、助成を受け、より多様な取り組みを実践したいと考えました。そこで、1) 展覧会に関連づけられた内容のプログラムを提案、2) 1)を踏まえつつ共にとりくむボランティアがより主体的に活動できる内容を企画、といった2つの取り組みを行いました。		
1)の活動 世界の神話をテーマとした展覧会（特別展「古代オリエント カミとヒトのものがたり」）に関連し、神話の一場面が描かれたデザインの円筒印章づくり、神話に登場する合成獣を考えるワークショップを企画・実施しました。またアトリエで展覧会をもっと楽しく鑑賞するワークシートを作成し配布しました。（参加者301人） 江戸から明治にかけて制作された和ガラスが一同に並ぶ展覧会（特別展「和ガラスの美を求めて」）では、和ガラスの制作技法のひとつである「型吹き」の仕組みを追体験してもらうプログラムを企画。シリコン型に蠟を流し入れてキャンドルをつくりました。（参加者57人）		
2)の活動 ワークショップの企画に携わってくれるボランティアスタッフを募集、「古代オリエント カミとヒトのものがたり」にて実施するプログラム「かみさまかるた大会」を企画・運営しました。かるたというだけでも楽しめるゲーム性のある活動のなかに、神話を楽しく学ぶという教育的目的を含ませるプログラムになるよう、企画に携わるボランティアスタッフは、展覧会を読み解き、モチーフとなる神さまや神話を選定、学術的根拠を調査し、学芸員による監修を得て読み札を制作していきました。当日は子どもから大人まで計35名の参加者で実施しました。（企画ボランティア7人）		
助成を受けての成果 1)について 子どもから大人まで広い年齢層を取りこむ活動として展開できたのではないかと振り返ります。また、定期的に取り組むことでリピーターも見られるようになり、目的である「親しみを感じてもらう」ことが徐々に達成できているのではないかと実感しました。 2)について この活動は来館者を対象とした教育普及事業であると同時に、ボランティアを対象とした生涯学習の機会となることを期待して企画しました。活動終了後、参加ボランティアからは、「専門ではない分野で最初は混乱したが楽しく取り組むことができ、またこのような活動をしたと思った。」「他のボランティアから刺激を受けた」「子どもに苦手意識があったが、気づきや発見など驚くことが多く、自分自身成長できた」といったコメントが得られ、活動を通じた変化の萌しがみられました。		
今後の活動の課題点 当初は講師を招へいたプログラムや多角的なアプローチからなる広報活動の展開を予定していたが、「オリエン太のアトリエ」は実質1名の担当者が管理しており、実践の限界を感じました。今後は友の会会員、美術館内の職員との連携を図り、皆で取り組む活動ができるよう、事業の仕組みを整えていきたいと思えます。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) 岡山市立オリエント美術館 電話086-232-3636 HP http://www.orientmuseum.jp/		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。



古代エジプトの文字ヒエログリフのスタンプで自分の名前を書いたよ。



いろんな動物のパーツを組み合わせて合成獣を考えたよ。



展示会をもっと楽しむワークシート

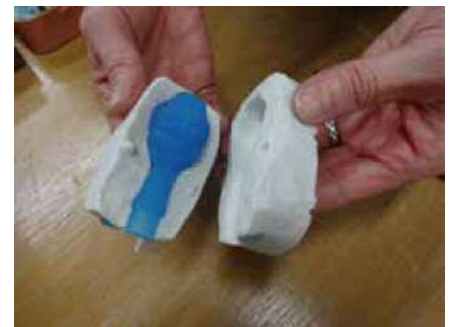
①-2活動のようす —和ガラスの美を求めて 瓶泥舎コレクション



メソポタミアからはじまったガラスの歴史について説明



型をつかって製造する「型吹きガラス」の仕組みを追体験します。



型吹きガラスの形をしたシリコンの割型にロウを流し込んでキャンドルをつくります。

②ボランティア協同企画「神さまかるた大会」



展示品について学芸員から説明を受けます。



学芸員を交え、読み札を作成していきます。



絵札と読み札の確認を行います。



当日参加者は35名。最初に展示会を見て神話の世界に浸ります。



子どもと大人にわかれかるた大会を開催！



大人部門、子ども部門の優勝者にはそれぞれ景品を贈呈。